

文系研究戦略ワーキング ワークショップ 「東アジア地域統合の歴史と現状」

■日時

2006年10月7日(土) 10:00~18:00

■場所

千里中央・千里クラブ会議室

全学研究推進室文系研究戦略ワーキングの企画によるこのワークショップは、小泉政権の下で提起されてきた「東アジア共同体」構想から派生する、東アジア地域における地域統合の諸相を、多面的に考察することを目的としている。同ワーキングは、本年1月に実施されたワークショップ「東アジアの地域統合と中国」の成果をふまえ、引き続き人文科学と社会諸科学、地域研究との学際的対話を試みようとするものである。

第1部では、東ユーラシア地域の歴史的展開と現代を結びつけるとともに、日本と韓国の双方から、東アジア諸国間の相互協力の展望、東アジア地域統合の可能性とその問題点、課題を検証する。第2部では、阪大の各部局で取り組んでいる東アジア関連の研究プロジェクトの紹介を行い、共同研究の可能性を模索する。

プログラム

開会挨拶: 二神 孝一(経済学研究科・文系WGグループ座長) 予定

(第1部) 講演と討論 10:00-15:30

司会: 野村 美明(国際公共政策研究科)

- (1) 上田 信氏(立教大学文学部・教授) 10:00-11:00
「東ユーラシアにおける雲南と日本—18世紀から現代まで」
- (2) 姫野 勉氏(国際公共政策研究科・教授) 11:00-12:00
「東アジアの政治外交における課題—ポスト小泉政権の下での注目点」
- (3) 崔 昇煥氏(韓国・慶熙大学・教授、東アジア地域連携フォーラム副代表) 13:00-14:30
「東アジア経済共同体の推進方向と課題」(韓国語通訳付)
- (4) 第1部討論: 14:30-15:30

(第2部) 阪大研究プロジェクト紹介 15:50-17:30

司会: 秋田 茂(文学研究科)

- (1) プロジェクト1: 阿部 武司(経済学研究科・教授)
「東アジアにおける工業化の比較史—綿業を中心として」
- (2) プロジェクト2: 林 智良(法学研究科・教授)
「アジアにおける法学の交流と共通モデルの探求—ローマ法を手懸かりに—」
- (3) プロジェクト3: 小林 茂(文学研究科・教授)・片山 剛(文学研究科・教授)
「近代東アジア土地調査事業研究プロジェクト」
- (4) プロジェクト4: 米原 謙(国際公共政策研究科・教授)
「近代日本のナショナル・アイデンティティの形成と変容—中国・韓国との関連において」
- (5) プロジェクト5: 田中 仁(大阪外国語大学言語社会研究科・教授)
「現代「中国」の社会変容と東アジアの新環境」

(第3部) 総合討論 17:30-18:00

司会: 二神 孝一(経済学研究科・文系WGグループ座長)